

筑後地方にも市民の善意によるセーフティネット=フードバンクを

第2回(仮)フードバンクくるめ設立準備会 開催のお知らせ

月日：2017年1月21日(土)

時間：午後1時30分～4時

場所：久留米市役所3階302号室



前回は約20名の参加でした。まず先進的なフードバンク北九州ライフアゲインの取り組みが紹介され、筑後地域におけるフードバンクの必要性和2017年の4月頃に任意団体としてスタートし、半年かけてNPO法人化する原案について多くの意見と賛同の声があがりました。

今回はより具体的に、任意団体フードバンクくるめ設立に必要な費用概算を明らかにし、内容の検討および賛同者と資金集めについて語り合います。

特にインターネットを活用する新しい形態のクラウドファンディングとはどうゆう仕組みかACT NOW (アクトナウ) 福岡営業所の井上裕乃さんにプレゼンと質疑応答してもらいます。

食料を提供する、供給を受ける、ボランティアをする、物品・資金提供したい等、地域のフードバンク事業発足にご興味のお持ちの方は、是非ご参加下さい。

(第3種郵便物認可)

2016.12.18(日) 西日本

西

フードバンクくるめ設立へ 子ども食堂や生活困窮者支援

久留米市役所で開かれたフードバンク設立準備会の初会合



県内では、福岡市や北九州市などでフードバンクが活動しており「フードバンク北九州ライフアゲイン」の取り組みを参考にした。久留米市城島町内に購入予定の倉庫を拠点に、子ども食堂や児童養

護施設、生活困窮者の支援団体などに食材を届ける。筑後地域に加え佐賀県側も活動範囲とする。今後、倉庫の改装や車両の手配、食材を提供する企業や個人の募集を進める。初会合には、子ども食堂の関係者ら約20人が出席した。フードバンクができれば、食堂で提供する食事の幅が広がる「食材の配布に協力する施設や家庭が各地に必要な」など、期待の声や課題を指摘する意見が出た。浦川さんは「せっかくできた子ども食堂を長続きさせないといけない。県内の他のフードバンクも食材のやりとりをしていく」と話した。(片岡寛)

同市の「安武子ども食堂」域でも相次いで子ども食堂の運営に携わる浦川豊彦さんが開設しているが、都市部(22)が中心となり、設立では食材が十分に集まらない準備を進めてきた。こころい食堂もあり、フードバンクを通じて、継続的な活動田市、筑後市などを後押しする。

準備会 来春、任意団体でスタート

企業や個人から提供された食材を生活困窮世帯や福祉施設に届ける「フードバンク」の取り組みを、筑後地域にも広げようという動きが始まっている。「フードバンクくるめ(仮称)」の設立準備会の初会合が17日、久留米市役所で開かれ、来春に任意団体として立ち上げ、NPO法人化を目指す方針が報告された。

呼びかけ団体：くるめ革新懇話会 www.kurume-kakushinkon.net (担当：浦川世話人 080-6118-5285)

連絡先：くるめ市民の法律事務所 (弁護士：下東信三) ☎ 0942-34-1101